

Funehiki High School News vol.129

～がんばる船高生～ **ATTENTION!** 第9回 実用英語技能検定準2級に合格した佐久間夏緒さん

本校では、各種検定・資格の取得を奨励しています。たくさんの生徒が漢字検定、英語検定、情報処理技能検定などの検定にチャレンジし、見事に合格を勝ち取っています。

今回は、3月に実用英語技能検定準2級に合格した佐久間夏緒さん（2年 船引中出身）に話を聞きました。

* * *



▶合格証を手にする佐久間さん

—検定を受けたきっかけを教えてください。

中学校では英会話の授業が好きで、英検3級に合格しました。高校ではさらに上の級を目指そうと考えていました。

—試験に向けての対策は？

先生からいただいた対策プリントに毎日取り組み、筆記試験の対策をしました。また、他教科の勉強をしている合間に、英検の過去問題を解きました。いつもは勉強の合間に携帯電話を見ることが多いのですが、時間を有効に使えたかなと思っています。

放課後には先生と面接練習を何度も行いました。面接の受け答えでどこがダメだったかなど、徹底的に指導していただきました。自分でメモをとって、「ここはこう言おう」と色々と試行錯誤しながら練習しました。大変でしたが、面接の練習は楽しかったですね。

—実際の試験はどうでしたか？

面接では、質問に対して自分の答えが合っているのかどうか迷いがありました。正直なところ、自信はありませんでした。

—合格したときはうれしかったですよ。

そうですね。インターネットで合格が発表されたのですが、不安でドキドキしました。今まで頑張ってきたことが結果につながって良かったです。次は2級に挑戦したいです。

* * *

将来は市内の企業に就職したいという佐久間さん。特に人と関わる仕事がしたいそうです。「そのためにも、これからも就職に役立つ資格を積極的に取りたい」と意気込みを語ってくれました。

◆入学おめでとう

4月10日、平成30年度入学式が挙行され、猪俣豊校長が普通科116人の新入生の入学を許可しました。

新入生を代表し、松崎恵汰さん（移中出身写真）が「校訓である『自律』を念頭に置き、一生懸命学び、多くの経験を積むことで地域の未来を創造する人材となれるよう頑張ります。」と誓いの言葉を述べました。新入生は大きな希望を胸に、高校生活をスタートさせました。



◀誓いの言葉を述べる松崎さん



福島県立船引高等学校 Tel...0247-82-1511 Fax...0247-82-5233
HP...<https://funehiki-h.fcs.ed.jp> mail...funehiki-h@fcs.ed.jp

東京と田村



Endia Mathews
エンディア・マシューズさん
(アメリカ合衆国
ジョージア州出身)
田村市に来て2年目

昨年、東京に行ってきました。田村市のゆったりとした生活リズムに慣れてきました。テンポの速い日本の生活を経験したいと思ったからです。東京はアメリカでもテレビで紹介されています。刺激的で独特な都市であることを人から聞いていました。私はアメリカでは大都市に住んでいたのに、都会が懐かしくなったのもあったのかも。



渋谷、新宿、銀座、原宿...それは想像以上でした。私は東京よりも気ぜわしい場所を見たことがありません。渋谷のスクランブル交差点を渡る人々。あまりにも多くの人がいた原宿。ショックを受けると同時に、選択肢の多さに圧倒されました。正直、心静かに楽しむことはできませんでした。東京は私にとって、あまりにも忙

しすぎたのです。田村にある自分の部屋へ帰ると、心底ホッとしました。ここでは、落ち着いて腰を下ろしたり、人々に目を留めたりすることが当たり前です。東京のように人とぶつからないように気を使うことなく、気ままに散歩することができる幸せ。外国人にも優しく声をかけてくれる人々。田村市の穏やかさに感謝するしかありません。日本の地方には、大都市に負けないくらい素晴らしいところがたくさんあります。アメリカのテレビでも、東京ばかりではなく、日本の地方も特集してくれればいいのですが。

海を越えて 英語指導助手ペンリレ No. 59

花開く時季



John Brandt
ジョン・ブランドンさん
(アメリカ合衆国
ミズーリ州出身)
田村市に来て3年目

時期は遅れてしまいましたが、桜について書きたいと思います。僕は日本に来るまで、桜を一度も見たことがありませんでした。アメリカには桜が少なく、花が咲いても日本ほど人気がありません。桜はほんのりとした、アメリカの桜はほとんどが日本から贈られたものだそうです。当然、花見のような風習もありません。日本に来た最初の年に三春の滝桜を見に行きましたが、それは見事なものでした。まるで桜が僕を歓迎してくれているようでした。日本では、桜を観賞するだけでなく、食用にも使っていますよね。一番好きなのは、桜風味のアイスクリームです。ある友人は、その味をマシマロ・ミルクのようだと表現しました。今では、そ



のアイスクリームを見つけると、いつも買うようにしています。アメリカには、「New Year's Resolution」と呼ばれる風習があります。新年に抱負や決意を表明するものですが、毎年続けるのがとても難しいので、アメリカではもう一種のジョークになってしまっています。では、新年ではなく春にするのはどうでしょうか。気温が暖かくなり、植物は開花し始める季節。樹木にとって新たな生命が再び始まります。桜が開花する時季は、決意表明にうってつけだと思いませんか？ すなわち「Cherry Blossom's Resolution」です。そして来年、最初の決意表明は次のようになるでしょう。桜をもっと楽しむ、と。